



子育て支援センターの業務充実について



はやし 昌子
議員

質問 子育て支援センターの利用状況は。

答弁 (教育次長) 子育て支援事業は、木原多目的集会施設を利用し、実施事業は、子育て広場事業とファミリーサポート事業の2つで、子育て広場事業では、ほっとルームや各年齢に応じた広場事業、外遊びや季節の行事を入れた事業を実施している。ファミリーサポート事業では、預かり等の援助を受けた人と、支援をしたい人で助け合う有償の相互支援事業を行っている。27年度の利用件数は、28

年2月末で子育て広場事業3,270組、ファミリーサポート事業239件となっている。

質問 今後、子育て支援センターが商業用地に隣接することによる、利用拡大、職員の増員、休日対応は。



答弁 (教育次長) 利用意向のアンケートをとりながら、意向に見合った利用時間、利用曜日の開設について、他市町村の子育て支援センターの運営状況も把握しながら検討を行う。

答弁 (村長) 職員の配置については、施設も大きく、新しくなることから、登録者がどれくらいになるかによる。開園する曜日についても、施設が完成するまでの今後1年で利用される方の意見を聞きながら決めていく。

健康づくりの充実について

質問 現在の健康づくり事業の現状と、今後の健康づくりの充実のための取り組みは。

答弁 (保健福祉部長) 本村では、26年3月に第2次美浦村健康づくり計画を策定し、生活習慣病の改善、健康の増進、疾病・介護予防を目標に健康づくりに取り組んでいる。今後も継続的に健診率のアップ、健康教室の実施、心の健康に対する支援に努める。

質問 生活習慣病予防の運動

教室はどのようなタイミングで行っているか。また、実績は。

答弁 (保健福祉部長) 健診後の結果通知に案内を同封して、筋力アップ教室や貯筋運動教室を実施している。筋力アップ教室は1回40名で7回、貯筋運動教室は1回40名で10回行っている。

質問 自殺予防やメンタルヘルスの強化の具体例は。

答弁 (保健福祉部長) 初期支援として福祉介護課で相談窓口を担当し、相談員に精神保健福祉士をお願いして、毎月実施している。また、相談後に家庭訪問や医療機関等との連携を通じてケアに努めている。実施状況は、毎月3、4件のケースに対応している。